

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500774
事業所名	サポートハウス ごらく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 今年5月から地域の回覧板で、「ごらくだより」も回覧されるようになり、近所の方が介護のことで相談に来るようになった。10月に行われた秋祭りに参加したり、地域の催しである「お月見どろぼう」にも参加し、子供たちがお菓子を取りに来たら、利用者から渡して交流を図っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月毎に年6回行われており、民生委員やいきいき支援センター職員、福祉関係者らが出席している。会議の中で防災訓練を行ってから、反省会をして出席者から意見を聞いている。会議でホーム便りや地図を回覧板で回覧させてもらったかどうかとの意見が出て、実行できた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護の利用のことやインフルエンザのことなどで、わからないことは電話で相談したり、日頃から交流の機会を持ち協力関係を築くよう努めている。市町村主催の研修にも積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 法改正など、全体に伝えることがある場合は家族会を開催している。日々の様子の写真付きの「サポートハウス通信」を毎月発行している。家族より要望などがあつた場合は、職員間で共有し、改善できることは改善するように努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				